



蜻蛉の尾もて  
叩くや水鏡

流れきてわが身かなでる水の音

みずすまし  
水馬ののじののじの日暮哉

河鹿鳴き姿さがして石が鳴き

鞘走る 二刀かまえしりはきみ缺虫

蜜の味 人も溺れし壺の中

蝶二頭くんずほぐれつ昇天し

蟬昇天 まんじ 𠄎むすびて夏は逝き

鬼が来て釣瓶に下りた月を呑む

わびしくて月に張りつく壁虎哉 かむろ

闇を吸い白き糸吐くカラスウリ

冬虫夏ペンペン草や蝮草まむしぐさ

夏の夜の一声ありて寝惚け蝉

飴色のリボンに蹴もがく蠅かなし

野辺おくる家紋羽織りて蝶の舞い

繭籠り さなぎかすかな鼯あり

逝く夏の柩に差した花いちもんめ一匁

蟻の路帆掛けてすすむ蝶々哉

春の風羽毛まろびて猫騙す

黄泉路きて朝な夕なのホトトギス

空しうておのれを叩く木魚哉

劍山の針のむしろに花が咲き

俎板まなごたの全身海鼠なまこあぐらかき

今生にわが身むすべる蚯蚓哉

空しくば掌に翡翠の数珠を揉み

風葬のシャボン孕みてはじけるや

無表札モノノケ我屋を抜けてゆき

けものみち己の血道嗅ぎ分ける

お多福の手乗り木魚に抓つまみ塩

道ゆかばキミとボクとの通せんぼ

日本死ね!! 本丸めがけ石飛礮

いしひょう



龍宮の遣いし者のジュゴンかな

蛇の皮 三線さんしんはじき輪が踊る

沖繩のさきの戦火を今に曳き

琉球弧しまかぜ呼びて指の笛

ヤマトンチユ  
日本人ニライカナイの針呑むや

ひと夏のぺんぺん草を  
風はじき

むのたけじ百一歳の鬼骨かな

マスメディア国の器に飼育され

NHK野暮天画像右にぶれ

電波法 切れぬ竹光鞘走る

眉唾のおためごかしに血道あげ

核の傘さして核売るイカサマ師

漏れオムツかわや厠搜して徘徊し

汚染水 氷の壁とバカの壁

再稼働ムラの茶会で核煎じ

死の国のフレコンバッグ城をなす

舌二枚舌一枚の詫証文

散切りのオカツパ像の動かざる

詫び状に二の句あやしき箇条付

かえりみて合せ鏡に鬼おどる

ゆきゆきし人身御供を神待つや

イカサマの国がわたしに居候

マイナンバー数の鎖で搾り取る

鼻環と鼻のピアスが街をゆき

桁の数十三階段のぼりつめ

認知症一億人のカルテ診る

戦争法 国のことやしで人は死に

針をそえ平成きつての毒饅頭

贈収賄なにはばかるや露天掘り

哲学を垂れたお主は雲隠れ

われ総理ペテン師おのれを言い当てる

トランプの舌はためきて星条旗

蠅だかりおのがはらわた腑分けして

王国の死斑視る人視えぬ人

相似形わたしのお国のトランプ氏

弓奉行 獲物無き矢は空をゆき



敵無くば軍鶏の蹴爪の虚しけれ

呪わしき大地に燃えるテロル花

列強の忘れ形見か避難びと

越境に悲しく踊れタンタロス

※ニライカナイ＝奄美・沖縄地方で、海の彼方にあると信じられている楽土。  
※タンタロス＝故に永久に飢渴の罰を受けたギリシヤ神話にあるゼウスの子。

二〇一六年“夏”